



本事業を基盤とし観光資源の創出も視野

活動当初は、地区住民の新たな負担になってしまわないかと不安もありました。しかし協力しあって活動することで、地域資源を大切にしようという意識が、以前より高まってきているように感じています。会では独自に広報紙を発行しており、それによる周知も進んでいるのではないのでしょうか。

今後は、ホテルドームを活用した「観光資源」の創出やお茶を通じた地域内の交流にも力を入れていきたい。耕作放棄地を一つでも減らしていけるよう、努力していきたいと思っています。 活動期間：平成20～24年度

徳山水土里の会 会長 ^{ひろただ}**澤口浩忠**さん

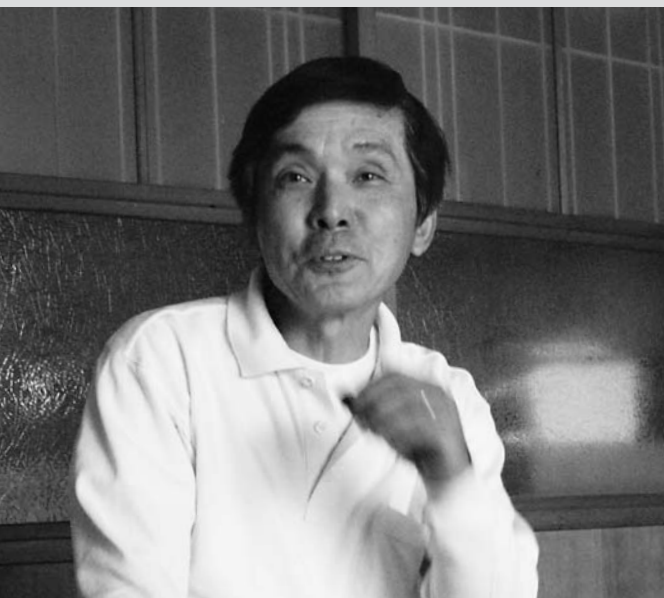
「地域挙げての環境づくり」へのスタート

近年、地区内の高齢化が進み、農地や農業用水などの保全活動の持続が困難になってきています。本事業の主旨である「共同で活動する大切さ」は、単に地域を美しく保つていこうという物理的な効果だけではなく、地域住民同士の連帯感を生み出すという「心」の面での効果も大きなものです。

本事業の採択を受けた5年間で「地域挙げての環境づくり」への確かなスタートとなるよう、これからも地域全体で盛り上げ、取り組んでいきたいと考えています。

活動期間：平成19～23年度

地名やらざあ会 会長 ^{きよし}**椎野清**さん



これまで実施できなかった活動にも着手

農道の補修や里山の景観を保つための支障木伐採など、これまで地区内で要望があっても実施できなかった活動に取り組めるようになり、地域環境の向上が図られています。

志太榛原地域ではこの事業に取り組む地域が多いと聞いています。高齢化が進む時代ではありますが、本事業に取り組むことで見通しの良い地域づくりをしていきたい。少しずつ参加者の輪を広げ、住民同士のつながりが深まっていけばうれしく思います。

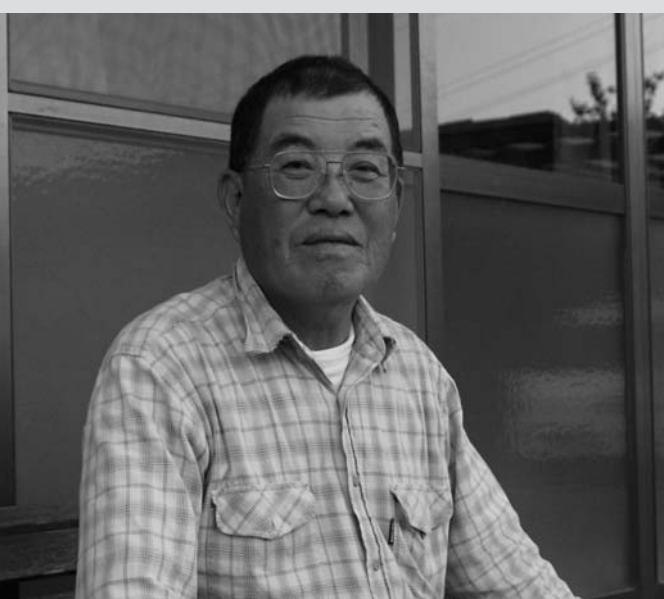
活動期間：平成20～24年度

久保尾緑と水の会 会長 ^{しげる}**山田茂**さん

自分たちで何とかしようという心が育つ

水と緑の会では、主に農道の整地や舗装、沢から水路に水を引くといった活動に取り組んでいます。シバザクラの植栽活動では、ほぼ全戸の住民が参加。本当に多くの人に出会えました。この活動を続けていると「自分たちの地域は自分たちで何とかしよう」という気持ちを持った人がたくさんいることが分かり、本当に心強いです。当会は基本すべてがボランティア。皆さんの協力があってこそです。地域を守る気持ちを大切に、今後も地域の皆さんに感謝しながら活動を続けていきたいと思っています。 活動期間：平成19～23年度

久野脇水と緑の会 会長 ^{えつろう}**石間悦郎**さん



伝統を受け継ぎながら新しいことも挑戦

平成9年から実施している「瀬平手づくりふるさと推進委員会」が主体となって、本事業の推進を図っています。昨年度、一番大きな事業として地区内全域にわたってしだれ梅などの植樹と川根茶のモニュメントの製作を実施、地区のほぼ全世帯の人が参加してくれました。平谷の流したいなど、古くから伝わる伝統芸能にも多くの住民が参加してくれるこの地区は、本当に協調性が強い地区だと思います。本事業を活用することで、さらに地域の良さを高めていきたいと考えています。 活動期間：平成20～24年度

瀬平けっこにせつ会 会長 ^{ひとし}**藤中仁**さん



事業が地域にもたらす効果

農地・水・環境保全向上対策事業の協定を交わし活動中の町内5団体
本事業の採択を受けたことで、どんな効果が生まれたのか
これからどんな地域をはぐくんでいきたいのか
各団体の会長に「本事業が地域にもたらした効果」について聞いた

活動例左写真から／川根茶モニュメント(瀬平)、広報紙発行(徳山)、シバザクラ植栽作業(久野脇)

